

◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
②	学校に行くのは楽しいと思いますか。
③	先生は授業で分からなかったところを分かるまで教えてくれると思いますか。

分 析	①将来を見据えた人間形成を目指している。 ②友好的な人間関係を築けている。 ③教師との信頼関係を築けている。
改善に向けた取組	生徒の意欲が高く、将来に向けても各々の目標を達成しようとする生徒のためにも、教師側がそれらの意欲を活かす教育活動や授業実践に取り組んでいく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	朝食を毎日食べていますか。
②	スマホの使い方について、家庭での約束を守っていますか。
③	学習について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

分 析	①朝食を摂らない生徒の割合が全国平均をやや上回っていた。 ②家庭での約束事を設けていない家庭の割合が全国平均を大きく上回っていた。 ③理解できていない部分の見直しができている。
改善に向けた取組	①食育の充実を図る。 ②家庭への啓発・連携、生徒自身の我慢の大切さの意識を高める。 ③他教科との連携を取りながら問題演習後の振り返り方法を指導したり、学び合いの取り組みを活発に行ったりする。

◆国語科

正答率は県平均と同じで、全国平均をやや下回った。

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	読むこと（思考・判断・表現）
②	無回答率

分 析	読むことに関しては、県平均をやや上回り、全国平均とほぼ同じであった。また、無回答率は全体的に低い傾向にある。
改善に向けた取組	教科書教材、朝読書、図書室の活用など、文章を読み取る機会を増やすように継続して取り組んでいく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	我が国の言語文化に関する事項（知識及び技能）
②	書くこと（思考・判断・表現）
③	記述式

分 析	○行書について、書き方は指導するが知識としての定着が図れていない。 ○書くことについては、複数の意見を理解し、自分の考えを持つことが難しいようである。
改善に向けた取組	○行書の特徴をテストとして出題するなど、知識の定着を図る。 国語の時間での話し合いの際、自分の考えで終わらず、班員の考えをふまえた自分の考えをもつよう指導していく。 ○話し合いに関しては国語科だけでなく他教科や道徳・特別活動などのなかでも取り組んでいく必要があると思われる。

【数学科】

正答率は県平均を大きく上回り、全国平均をやや上回った。

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表す
②	与えられたデータから最頻値を求める
③	筋道を立てて考え、証明することができる

分 析	領域別に見ると「数と式」「データの活用」は県平均を大きく上回り、全国平均も上回っている。
改善に向けた取組	これまでの取組を継続していく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	一次関数のグラフについて、事象に即して解釈することができる（ y 座標の値が表す数量）
②	事象を数学的に解釈し、答えをもとめる方法を式やグラフを用いて説明する

分 析	○「関数」領域については県平均をわずかに下回った。 ○思考・判断・表現の問題（記述式）の問題では無解答率が比較的高い。
改善に向けた取組	○2次関数を学習する際に、既習事項の内容を復習したり、関連付けたりして学習を進める。 ○自分の考えを他者に伝えたり、書いて表現したりする活動を取り入れる。